

(平成30年度 推薦入試 用)

# 入 構 許 可 申 請 書

平成 年 月 日

岩 手 大 学 長 殿

(申請者)  
学生証番号 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 学部 \_\_\_\_\_ 学科・課程 \_\_\_\_\_ 年次

\_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_ 年次

氏名 \_\_\_\_\_

下記の理由により、推薦入試 当日に入構等したいので、許可願います。

記

入館場所(例： 学部 号館 研究室)

理由(詳細に記入してください。)

上記の者について、入学試験に影響を与えないよう指導しますので、入構等を許可願います。

指導教員等 \_\_\_\_\_ 印

コース長・専攻長・プログラム長、入試委員 \_\_\_\_\_ 印

入構規制

- (1) 平成29年11月21日(火)は、**原則として入構等を禁止**します。
- (2) 特別の理由により、当日に入構等しなければならない者は、「入構許可申請書」に入構等理由等を記入し、指導教員等(理工学部及び工学研究科は指導教員等及びコース長・専攻長の連名、農学部は指導教員等及び入試委員の連名、総合科学研究科[理工学部の教員を指導教員にしている学生のみ]は指導教員等及びプログラム長・コース長の連名)からの許可を得たうえで、11月17日(金)正午までに、学生センターA棟大学院・専門教育課窓口(人社・教育： 番窓口、理工・農： 番窓口、総合科学研究科： 番窓口)に申請し、リボンを受け取ってください。  
なお、入構等中は必ずリボンを着用してください。

コース長・専攻長・プログラム長(理工学部・工学研究科・総合科学研究科の一部)と、入試委員(農学部)は裏面に掲載しています。

申請受付期限を過ぎたものは、いかなる理由があっても受理しません。

リボンの再交付はしません。

リボンは、11月24日(金)までに学生センターA棟窓口へ必ず返却すること。

リボンの返却

年 月 日

## 理工学部 コース長

化学・生命理工学科(化学コース)	大石 好行
〃 (生命コース)	富田 浩史
物理・材料理工学科(数理・物理コース)	松川 倫明
〃 (マテリアルコース)	吉本 則之
システム創成工学科(電気電子通信コース)	小林宏一郎
〃 (知能・メディア情報コース)	萩原 義裕
〃 (機械科学コース)	水野 雅裕
〃 (社会基盤・環境コース)	越谷 信

## 工学研究科 専攻長

### (工学研究科博士前期課程)

電気電子・情報システム工学専攻	萩原 義裕
機械システム工学専攻	上野 和之
社会環境工学専攻	羽原 俊祐
デザイン・メディア工学専攻	今野 晃市
金型・鋳造工学専攻	廣瀬 宏一

### (工学研究科博士後期課程)

フロンティア物質機能工学専攻	吉本 則之
電気電子・情報システム工学専攻	小林宏一郎
機械・社会環境システム工学専攻	水野 雅裕
デザイン・メディア工学専攻	今野 晃市

## 総合科学研究科 プログラム長・コース長

### (地域創生専攻)

金型・鋳造プログラム長	平塚 真人
防災・まちづくりプログラム長	南 正昭
社会基盤・環境工学プログラム長	羽原 俊祐

### (理工学専攻)

物質化学コース	大石 好行
生命科学コース	福田 智一
数理・物理コース	松川 倫明
材料科学コース	吉本 則之
電気電子通信コース	小林宏一郎
機械・航空宇宙コース	水野 雅裕
知能情報コース	萩原 義裕
デザイン・メディア工学コース	今野 晃市

## 農学部 入試委員

植物生命科学科	河村 幸男
応用生物化学科	三浦 靖
森林科学科	井良沢道也
食料生産環境学科 [農村地域デザイン学コース]	広田 純一
〃 [農産業システム学コース]	
〃 (水産システム学コース)	平井 俊朗
動物科学科	小田 伸一
共同獣医学科	山本 欣郎
	高橋 正弘